

2026年3月期 第3四半期連結累計期間 決算説明資料

2026年1月28日
FDK株式会社

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために

© 2026 FDK CORPORATION

2025年度第3四半期連結累計期間決算概要について、ご説明いたします。

1. 2025年度第3四半期の業績	
連結決算のポイント	3
2025年度第3四半期連結決算概要	4
営業利益変動要因(前年同期比)	5
連結貸借対照表	6
セグメント別情報	7
2. 2025年度(通期)見通し	9
3. 参考資料	10
4. トピックス	13

© 2026 FDK CORPORATION

今回ご説明させていただく内容です。

■ 連結全体

売上高：443.3億円(前年同期比： $\triangle 38.0$ 億円、 $\triangle 7.9\%$)

電池事業のリチウム電池で増収も、ニッケル水素電池、設備関連ビジネス、アルカリ乾電池および電子事業で減収

営業利益：10.4億円(前年同期比： $\triangle 2.6$ 億円、 $\triangle 20.0\%$)

電池事業のリチウム電池で増益も、設備関連ビジネスおよび電子事業が減益

経常利益：8.6億円(前年同期比： $\triangle 2.8$ 億円、 $\triangle 24.9\%$)

営業利益の減少により減益

四半期純利益：2.4億円(前年同期比： $\triangle 4.5$ 億円、 $\triangle 65.2\%$)

減損損失、事業構造改善引当金繰入額の計上により減益

■ セグメント別

電池事業：売上高 前年同期比： $\triangle 15.3$ 億円、 $\triangle 4.1\%$

- ・ニッケル水素電池は海外向けが減少
- ・リチウム電池は国内のセキュリティ・スマートメータ・住宅用警報器用途向けが増加
- ・設備関連ビジネスは自動車関連設備が減少
- ・アルカリ乾電池が減少

電子事業：売上高 前年同期比： $\triangle 22.6$ 億円、 $\triangle 21.3\%$

- ・各種モジュールはモビリティ・タブレット用途向けでの減少に加え、液晶ディスプレイ用途の選択と集中による生産終了で減少
- ・スイッチング電源は半導体製造装置用途向けが減少
- ・トナーは増加

はじめに、決算のポイントです。

■ まず、連結全体についてです。

売上高は、電池事業のリチウム電池で増収も、ニッケル水素電池、設備関連ビジネス、アルカリ乾電池および電子事業で減収となりました。

営業利益は、電池事業のリチウム電池で増益も、設備関連ビジネスおよび電子事業が減益により全体として減益となりました。

経常利益は、営業利益の減少により減益となりました。

四半期純利益は、減損損失、事業構造改善引当金繰入額の計上により減益となりました。

■ 次に、セグメント別についてです。

電池事業は、リチウム電池が増収となったものの、ニッケル水素電池が海外向けで減収、設備関連ビジネスが自動車関連設備で減収、アルカリ乾電池が減収となり、セグメント全体で前年同期比4.1%減となりました。

電子事業は、トナーが増加するも、各種モジュールがモビリティ・タブレット用途向けでの減少に加え、液晶ディスプレイ用途の選択と集中による生産終了で減少、スイッチング電源が半導体製造装置用途向けが減少し、セグメント全体で前年同期比21.3%減となりました。

2025年度第3四半期連結決算概要

FDK

(単位：億円)

	2024年度 3Q	2025年度 3Q	前年同期比	増減率
売上高	481.3	443.3	△38.0	△7.9%
営業利益 (営業利益率) (2.7%)	13.0	10.4	△2.6 (△0.3pt)	△20.0%
経常利益 (経常利益率) (2.4%)	11.5	8.6	△2.8 (△0.4pt)	△24.9%
四半期純利益※ (四半期純利益率) (1.5%)	6.9	2.4	△4.5 (△1.0pt)	△65.2%

※親会社株主に帰属する中間純利益

1株当たり四半期純利益	20.24円	7.03円	△13.21円
-------------	--------	-------	---------

為替レート (円/1USD)	152.32円	148.53円	△3.79円
(円/1EUR)	164.94円	170.44円	+ 5.50円

ROIC※	3.2%	2.5%	△0.7pt
-------	------	------	--------

※ROIC = 税引後営業利益/(自己資本 + 有利子負債)

© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

連結決算概要です。

■電池事業の売上高は、リチウム電池は国内のセキュリティ・スマートメータ・住宅用警報器用途向けが増加したものの、ニッケル水素電池が海外向けで減少、設備関連ビジネスが自動車関連設備で減少、アルカリ乾電池が減少したことにより、事業全体として減収となりました。電子事業の売上高は、トナーが増加したものの、各種モジュールがモビリティ・タブレット用途向けでの減少に加え、液晶ディスプレイ用途の選択と集中による生産終了で減少、スイッチング電源が半導体製造装置用途向けが減少したことにより、事業全体として減収となりました。

この結果、売上高は前年同期と比べ38.0億円減少の443.3億円となりました。

■営業利益は、資本金等の変更に伴ない外形標準課税が減額されたことによる販売費及び一般管理費の減少、原材料価格の変動や経費削減の影響があったものの、売上減や販売価格影響により、減益となりました。この結果、前年同期と比べ2.6億円減少の10.4億円となりました。

■経常利益は、営業利益の減少により前年同期と比べ2.8億円減少の8.6億円となりました。

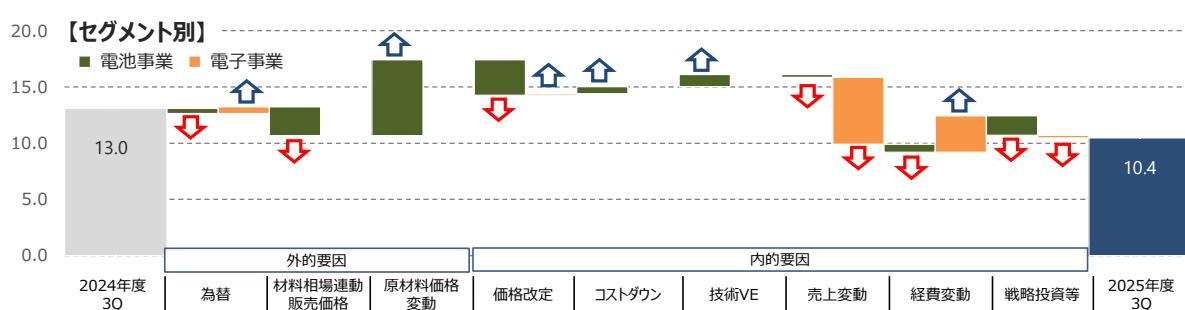
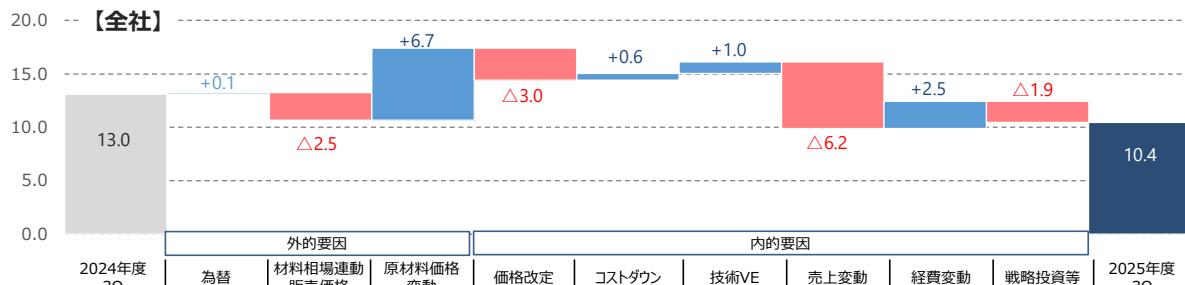
■四半期純利益は、減損損失、事業構造改善引当金繰入額の計上により前年同期と比べ4.5億円減少の2.4億円となりました。

■ROICは、前年同期と比べ0.7pt減の2.5%となりました。

営業利益変動要因(前年同期比)

FDK

(単位：億円)	2024年度3Q	2025年度3Q	前年同期比	増減率
営業利益(営業利益率)	13.0(2.7%)	10.4(2.4%)	△2.6(△0.3pt)	△20.0%



© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

営業利益の変動要因です。

■全体の営業利益は、原材料価格変動と経費削減による増益影響がありましたが、売上変動と販売価格影響による減益要因がありました。

売上減により、前年同期比2.6億円減少の10.4億円となりました。

■電池事業では原材料価格変動は好転要因で、価格改定と販売価格影響が減益要因となりました。

■電子事業では経費削減による好転要因がありましたが、売上変動が大きな減益要因となりました。

連結貸借対照表

FDK

(単位：億円)

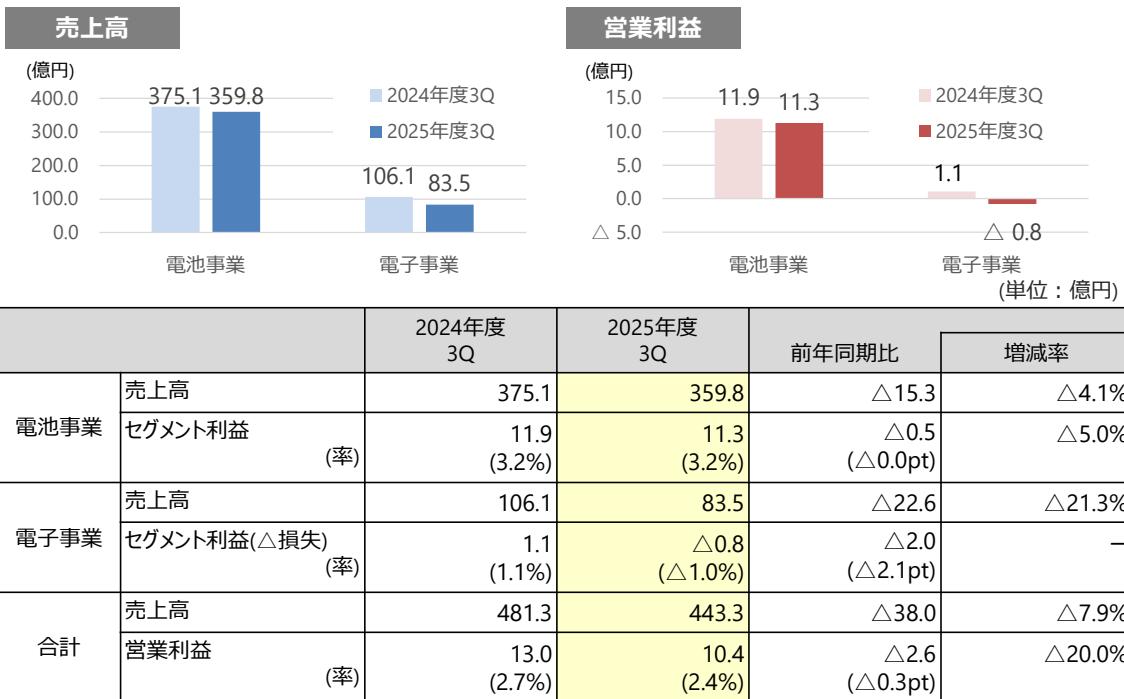
科 目	2024年度	2025年度 3Q	増減	科 目	2024年度	2025年度 3Q	増減
流動資産				流動負債			
(受取手形及び売掛金)	317.3	335.6	+18.3	(支払手形及び買掛金)	288.7	295.3	+6.5
(商品及び製品)	(135.3)	(147.8)	+12.5	(短期借入金)	(78.1)	(73.8)	△4.2
(仕掛品)	(26.3)	(29.8)	+3.5	(未払金)	(145.5)	(157.0)	+11.5
(原材料及び貯蔵品)	(30.6)	(30.5)	△0.0	(未払法人税等)	(11.8)	(16.4)	+4.5
(その他流動資産)	(48.5)	(47.8)	△0.7		(4.4)	(1.4)	△2.9
	(20.1)	(14.7)	△5.3	固定負債	10.4	9.4	△0.9
固定資産	146.0	147.4	+1.3	(リース債務)	(1.1)	(0.9)	△0.1
(退職給付に係る資産)	(-)	(1.6)	+1.6	(退職給付に係る負債)	(0.4)	(-)	△0.4
				負債合計	299.2	304.8	+5.6
				株主資本	134.2	136.6	+2.4
				(資本金)	(317.0)	(30.0)	△287.0
				(資本剰余金)	(262.2)	(30.4)	△231.7
				(利益剰余金)	(△444.5)	(76.7)	+521.3
				その他の包括利益累計額	28.7	40.3	+11.5
				(為替換算調整勘定)	(24.8)	(36.0)	+11.1
				純資産合計	164.1	178.2	+14.0
資産合計	463.4	483.1	+19.7	負債純資産合計	463.4	483.1	+19.7
自己資本比率	35.2%	36.6%	+1.4pt	有利子負債残高	147.0	158.2	+11.2

© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

連結貸借対照表です。

- 流動資産は、前年度と比べ18.3億円増加の335.6億円となりました。流動資産増加の主な要因は、未収消費税などのその他流動資産が減少した一方、前連結会計年度での早期資金化の影響による受取手形及び売掛金の増加や商品及び製品などの棚卸資産が増加したことによるものです。
- 固定資産は、前年度と比べ1.3億円増加の147.4億円となりました。固定資産増加の主な要因は、退職給付に係る資産が増加したことによるものです。
- 流動負債は、前年度と比べ6.5億円増加の295.3億円となりました。流動負債増加の主な要因は、支払手形及び買掛金や未払法人税等が減少した一方、短期借入金や未払金が増加したことによるものです。
- 固定負債は、前年度と比べ0.9億円減少の9.4億円となりました。固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る負債やリース債務が減少したことによるものです。
- 純資産合計は、前年度と比べ14.0億円増加の178.2億円となりました。純資産増加の主な要因は、為替換算調整勘定が11.1億円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が2.4億円、それぞれ増加したことによるものです。また、2025年9月度において、2025年6月25日開催の第96回定時株主総会での承認可決を受け、財務体質の健全化、将来の資本政策の柔軟性および機動性確保を目的として、資本構成の見直しを実施しました。これに伴ない、資本金、資本準備金及び利益準備金の額を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えることで欠損の補填に充当しました。
- 有利子負債残高は、主に借入金の増加により前年度と比べ11.2億円増加の158.2億円となりました。



© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

セグメント別の情報です。

■電池事業の売上高は、リチウム電池が国内のセキュリティ・スマートメータ・住宅警報器用途向けで増加しましたが、ニッケル水素電池が海外向けで減少、設備関連ビジネスが自動車関連設備で減少、アルカリ乾電池が減少したことなどにより、前年同期と比べ15.3億円減少の359.8億円、セグメント利益は原材料価格の変動の影響があったものの、売上減や販売価格影響により、前年同期と比べ0.5億円減少の11.3億円となりました。

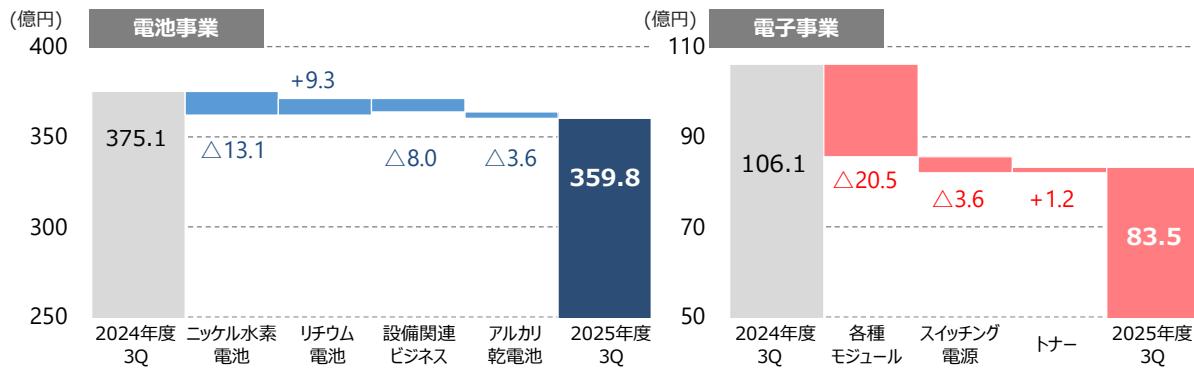
■電子事業の売上高は、トナーが増加したものの、各種モジュールがモビリティ・タブレット用途向けでの減少に加え、液晶モジュールの選択と集中による生産終了による売上減、スイッチング電源が半導体製造装置用途向けの減少により、前年同期と比べ22.6億円減少の83.5億円、セグメント利益は売上減により、前年同期と比べ2.0億円減少の0.8億円の損失となりました。

セグメント別情報(売上概況)

FDK

(単位：億円)

	2024年度3Q	2025年度3Q	前年同期比	増減率
電池事業	売上高 セグメント利益(率)	375.1 11.9(3.2%)	359.8 11.3(3.2%)	△15.3 △0.5(△0.0pt)
電子事業	売上高 セグメント利益(△損失)(率)	106.1 1.1(1.1%)	83.5 △0.8(△1.0%)	△22.6 △2.0(△2.1pt)
合計	売上高 営業利益(率)	481.3 13.0(2.7%)	443.3 10.4(2.4%)	△38.0 △2.6(△0.3pt)
				△20.0%



© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

セグメント別の売上概況です。

- ニッケル水素電池は、海外向けが減少したことにより、前年同期を下回りました。
- リチウム電池は、国内のセキュリティ・スマートメータ・住宅用警報器用途向けが増加したことにより前年同期を上回りました。
- 設備関連ビジネスは、前年度まで続いた旺盛な自動車関連設備需要が本年度に入り一服したことにより、前年同期を下回りました。
- アルカリ乾電池は、前年同期を下回りました。

続いて、電子事業については、

- 各種モジュールは、モビリティ・タブレット用途向けでの減少に加え、液晶モジュールの選択と集中で生産終了により、前年同期を下回りました。
- スイッチング電源は、半導体製造装置用途向けが減少したことにより、前年同期を下回りました。
- トナーは、前年同期を上回りました。

2025年度(通期)見通し

FDK

(単位：億円)

	2024年度 (実績)	2025年度 (予想)	前年度比	
				増減率
売上高	631.7	600.0	△31.7	△5.0%
営業利益 (営業利益率) (2.2%)	13.9 (2.2%)	14.0 (2.3%)	+0.0 (+0.1pt)	+0.4%
経常利益 (経常利益率) (2.0%)	12.6 (2.0%)	13.0 (2.2%)	+0.3 (+0.2pt)	+3.1%
当期純利益※ (当期純利益率) (0.8%)	5.3 (0.8%)	6.0 (1.0%)	+0.6 (+0.2pt)	+11.9%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	15.55円	17.39円	+1.84円
------------	--------	--------	--------

為替レート (円/1USD)	152.75円	149.45円	△3.30円
(円/1EUR)	163.76円	172.36円	+8.60円

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

2025年度の見通しです。

- 売上高は、600億円で31.7億円の減収。
- 営業利益は、14億円、経常利益は13億円、純利益は6億円の見通しです。
- 為替レートは、1USドル = 149.45円、1ユーロ = 172.36円を想定しております。

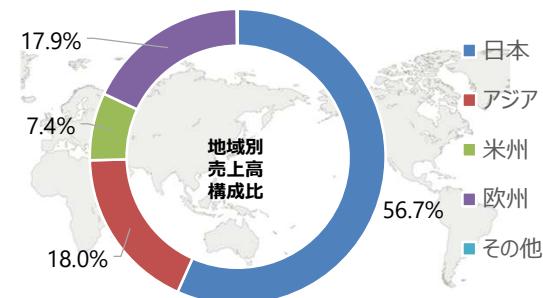
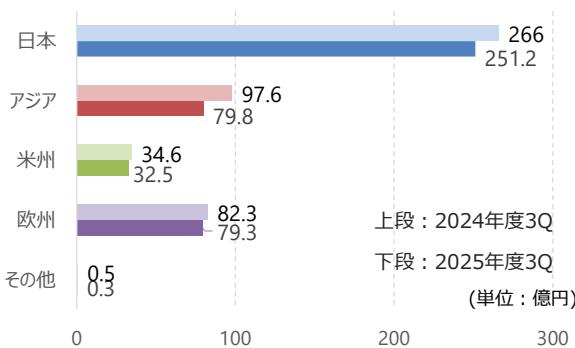
為替変動や電子事業の各種モジュールでの選択と集中による生産終了などで減収となります
、電池事業で付加価値の高い機種での売上増により増益を見込んでおります。

參考資料

© 2026 FDK CORPORATION

地域別売上高

(単位：億円)	2024年度 3Q		2025年度 3Q		前年同期比	
					増減率	
日本	266.0	55.3%	251.2	56.7%	△14.8	△5.6%
アジア	97.6	20.3%	79.8	18.0%	△17.8	△18.3%
米州	34.6	7.2%	32.5	7.4%	△2.0	△6.1%
欧州	82.3	17.1%	79.3	17.9%	△3.0	△3.7%
その他	0.5	0.1%	0.3	0.1%	△0.2	△36.7%
合計	481.3	100%	443.3	100%	△38.0	△7.9%
海外売上高比率	44.7%		43.3%			



※「地域別売上高」は顧客の所在地別売上を示しています

© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

連結キャッシュ・フロー計算書

FDK

(単位：億円)	2024年度 3Q	2025年度 3Q	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	15.0	10.8	△4.2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20.9	△17.9	+2.9
フリー・キャッシュ・フロー	△5.8	△7.1	△1.2
財務活動によるキャッシュ・フロー	8.9	11.1	+2.2
現金及び現金同等物の期末残高	41.4	54.0	+12.5

設備投資	19.4	17.3	△2.1
減価償却費	17.3	17.2	△0.0

1)「第9回 鉄道技術展 2025」に出展いたしました

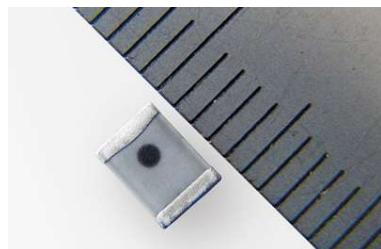
当社は、2025年11月26日（水）～29日（土）の4日間、幕張メッセで開催された「第9回 鉄道技術展 2025」に出展いたしました。

電池製品は、ニッケル水素電池、ニッケル亜鉛電池、リチウム電池、
電子製品は、Bluetooth® Low Energyモジュールをご紹介いたしました。

2) SMD小型酸化物系全固体電池SoLiCell®の定電圧充電対応モデル「SCD4532K」のサンプル出荷を開始いたしました

当社は、これまで展示会で公開してきましたSMD小型酸化物系全固体電池「SoLiCell®」の高エネルギー密度モデル「SCC4532K」に続き、新たに定電圧充電に対応したモデル「SCD4532K」を開発し、サンプル出荷を2025年12月より開始いたしました。

今回サンプル出荷を開始したモデルは、充電温度および充電電圧範囲の拡大により、簡易回路による"定電圧充電"に対応し、従来機種の高い高温安定性はそのままに、さらなる利便性の向上を実現いたしました。



© 2026 FDK CORPORATION

最後に、トピックスです。

- 1) 当社は、幕張メッセで開催された「第9回 鉄道技術展 2025」に出展いたしました。
- 2) 当社は、SMD小型酸化物系全固体電池SoLiCell®の定電圧充電対応モデル「SCD4532K」のサンプル出荷を開始いたしました。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位で表示しております。決算短信等で百万円単位で開示しております数値を切り捨て表示しているため、本資料に表示されてる合計額、差額などが不正確に見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または四半期報告書を参照していただきますようお願いいたします。

FDK

確かな技術 育てる未来